

2016年第3四半期の国民所得統計及び予測

2016年11月25日 主計総処発表

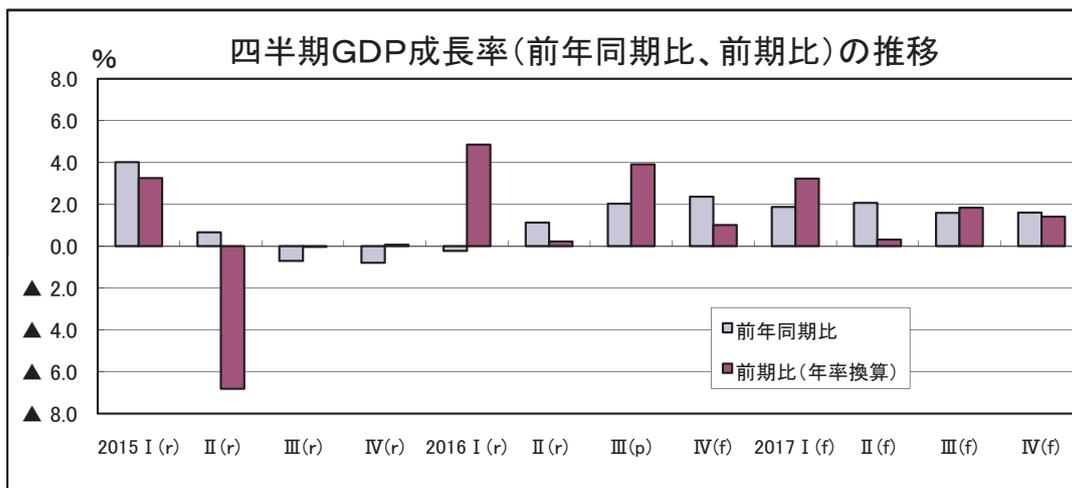
I 概要

行政院主計総処は11月25日、2014年第1四半期から2016年第2四半期の国民所得統計の修正、2016年第3四半期の国民所得統計速報値、2016年第4四半期及び2017年の経済見通し等を発表した。概要は以下のとおり。

- 一、2014年及び2015年の経済成長率は最新資料によりそれぞれ+4.02%（修正前+3.92%）、+0.72%（修正前+0.65%）に修正。
- 二、2016年第1、2四半期の経済成長率（yoy）は▲0.23%（修正前▲0.29%）、+1.13%（修正前+0.70%）に修正。

三、2016年第3四半期の経済成長率（速報値）は+2.03%、8月時点の予測値である+1.99%から0.04%ポイントの上方修正となった。第4四半期の経済成長率は+2.37%（8月時点の予測値から0.01%ポイントの下方修正）。2016年通年では+1.35%（0.13%ポイントの上方修正）となる見込み。一人当たりGDPは2万2,450米ドル、消費者物価（CPI）は+1.31%となる見込み。

四、2017年の経済成長率予測は+1.87%となり、8月時点の予測値である+1.88%から0.01%ポイントの下方修正。一人当たりGDPは2万



3,122 米ドル、CPI は + 0.57% の見通し。

II 国民所得統計及び予測

一、2014 年及び 2015 年の経済成長率の修正

国民所得統計は毎年 11 月に各種の最新調査及び関連資料に基づいて前 2 年の統計を修正する。2014 年及び 2015 年の経済成長率はそれぞれ + 4.02% 及び + 0.72% で元数値よりそれぞれ 0.10% ポイント、0.07% ポイントの上方修正となった。

(一) 今回の修正は最新の製造業投資及び運営概況、工場情報校正、営利事業所得税申告データ、税関統計、中央銀行の国際収支、国民の旅行状況、教育消費支出調査、家庭収支調査、卸売・小売・飲食レストラン業売上実況調査など各項目調査及び公務統計の最新資料、上場・店頭会社の財務諸表、公営事業及び各級政府最新の決算書などの関連資料に基づき、2014 及び 2015 年各四半期の統計を検討・修正した。

(二) 修正後、2014 年の経済成長率は + 4.02% で、元数値の + 3.92% から 0.10% ポイントの上方修正となり、GDP は 16 兆 1,119 億元 (145 億元の上方修正、上昇率は 0.09%) に修正した。2015 年の経済成長率は + 0.72% と元数値の + 0.65% から 0.07% ポイントの上方修正となり、GDP は 16 兆 7,590 億元 (712 億元の上方修正、上昇率は 0.43%) に修正した。

二、2016 年第 3 四半期の経済成長率速報値及び第 1、2 四半期の修正

2016 年第 3 四半期速報値の実質 GDP の前年同期比成長率 (yoy) は + 2.03%、季節調整後の前期比成長率 (saqr) は + 0.96%、同年率換算値 (saar) は + 3.91% となった。第 1、2 四半期の yoy はそれぞれ ▲ 0.23%、+ 1.13% に、saar はそれぞれ + 4.86%、+ 0.23% に修正した。

(一) 2016 年第 3 四半期

1、外需面について

(1) 世界景気の回復テンポが緩やかで、中国のサプライチェーン現地化による持続的影響があるものの、半導体市況の継続

的活況やモバイル新商品の発売が輸出の増加を押し上げたことから、第 3 四半期の輸出 (米ドルベース) は前年同期比 + 0.11% (台湾元ベースでは + 0.44%) と昨年第 1 四半期以来のプラス成長となった。大きなウェイトを占める電子部品は同 + 12.31% となり、各項目に増減があったものの、多くの減少幅は縮小している。また、サービス輸出を加え (外国人観光客数 ▲ 3.13%)、物価要因を控除した (輸出物価指数 ▲ 3.79%) 商品及びサービスの実質輸出は + 3.59% となった (8 月時点の予測値 + 4.50% から 0.91 ポイントの下方修正)。

(2) 輸入は、資本設備の輸入が持続的に拡大し、農工原材料価格の下落幅が緩やかになったことから、第 3 四半期の商品輸入 (米ドルベース) は ▲ 0.10% (台湾元ベースは + 0.32% と 6 四半期連続のマイナスを収束) となった。居住者による海外旅行者数は + 11.90% と引き続き増加し、サービス輸入の成長をもたらした。物価要因を控除した (輸入物価指数 ▲ 3.41%) 商品及びサービスの実質輸入は + 5.27% となった (8 月予測値 + 4.48% から 0.79 ポイントの上方修正)。

(3) 輸出と輸入を相殺した外需全体の経済成長率に対する寄与度は ▲ 0.40 ポイントとなった。

2、内需面について

(1) 第 3 四半期は、車市場の持続的な強さに伴う新車プレート申請の増加 (+ 6.83%)、石油商品の値下げに伴う売上好調、モバイル装置の販売好調から、小売業全体の売上額は前年同期比 + 1.91% となった。また、飲食レストラン業売上額は同 + 3.29% となった。物価要因を控除した (商品類 CPI 及び外食価格はそれぞれ + 0.59%、+ 1.37%) 小売業及び飲食レストラン業の実質成長もプラス成長となった。また、中秋節の連休効果により、高速道路通行料金は + 5.12% と引き続き増加し、居住者による

海外旅行者数は+11.90%となった。第3四半期速報値の民間消費は前年同期比+2.46%となり（8月予測値+1.54%から0.92ポイントの上方修正）、経済成長率に対する寄与度は+1.29%ポイントとなった。政府消費は中央政府予算の執行状況が順調であるため、第3四半期は+3.56%となり、経済成長率への寄与度は+0.50%ポイントとなった。

- (2) 民間投資は、国内半導体業者が引き続き先端の生産設備を拡大し、第3四半期の資本設備輸入（台湾元ベース）は+8.10%となり、また航空業者による航空機購入は拡大したものの、建設工程投資は引き続き引き減退となり、知的財産を併せた民間固定投資全体では+3.62%の成長となった。実質政府投資は+4.66%、公営事業投資は▲6.38%、実質在庫調整は25億元減少となり、これらと併せた第3四半期の実質資本形成全体は前年同期比+3.11%（8月予測値+2.79%から0.32ポイントの上方修正）、経済成長率への寄与度は+0.64%ポイントとなった。
- (3) これらの各項目を併せた第3四半期の内需全体の経済成長率は+2.79%、経済成長率全体への寄与度は+2.43%ポイントとなった。

3、生産面について

- (1) 農水産物は、年初の天候不順及び台風の連続襲来の影響を受け、果物、養殖水産物の収穫量が大幅に減少したため、第3四半期速報値の成長率は▲4.04%となり、経済成長率への寄与度は▲0.07%ポイントとなった。
- (2) 工業生産成長率は+4.39%となり、うちモバイル新商品の持続的な発売やスマート科学技術製品の応用の拡大が電子部品の生産を押し上げたことから、第3四半期の製造業生産指数は+4.92%と2015年第2四半期以来の連続のマイナスを終え、第3四半期速報値の製造業実質成長率は+5.17%、経済成長率への寄

与度は+1.63%ポイントとなった。建設業は着工面積の19.29%の減少、及び雨の日が多かった影響により、生産稼働が引き続き減少し、建築用砂石、コンクリート及び鋼棒など建築材料の内需量とも減少したことから、実質成長率は同▲2.51%となり、経済成長率への寄与度は▲0.07ポイントとなった。

- (3) サービス業については、卸売業売上額はモバイル装置への需要増加が関連電子部品の売上を押し上げたため、前年同期比+0.32%と6四半期連続のマイナスを終えた。小売業（売上額同+1.91%）と併せた卸売小売業全体の实質成長率は同+1.58%、経済成長率への寄与度は+0.24%ポイントとなった。出国者数の持続的な増加に伴い、航空客運の需要が引き続き拡大し、また高鉄（台湾新幹線）及びMRT（地下鉄）の運搬量はそれぞれ+8.77%、+2.01%となり、また自動車・貨物の運搬量も+5.56%となり、運輸倉庫業の实質成長率は同+5.12%、経済成長率への寄与度は+0.14%ポイントとなった。

- (二) 2016年第1・2四半期は各項目の主要指標に基づいて修正を行った結果、前年同期比成長率(yoy)はそれぞれ▲0.23%、+1.13%、2016年上半期の経済成長率は+0.46%となった。第3四半期と併せた1～3四半期の経済成長率+0.99%となった。

三、2016年第4四半期及び2017年の経済展望

(一) 国際経済情勢

1. IHSグローバルインサイトの11月最新世界経済展望資料によると、2017年の世界経済成長率が+2.8%（8月予測値から横ばい）、2016年の成長率+2.4%（横ばい）より上回るものの、6年連続して3%を下回り、成長力が限られていることを示している。このうち、2016年の先進国経済は+1.5%（横ばい）となり、2017年は+1.7%（0.1%ポイントの下方修正）に上昇する見通しであり、新興経済国は2016年及び2017年はそれぞれ+3.9%（横ばい）、

- + 4.5% (0.1%ポイント上方修正)となる見通しである。
2. 米国経済はファンダメンタルズが良好に転じ、労働市場及び賃金条件の持続的な改善により民間消費は安定した成長となり、今年第3四半期の企業による在庫補填が加速化し、下半期の景気が上半期を上回ることから、2016年の経済成長率は+ 1.5%となる見込み (0.1%ポイントの下方修正)。2017年は、米大統領就任後、選挙公約の執行状況及び考えられる影響について観察する必要があることから、2017年の成長率は+ 2.2% (0.2ポイントの下方修正)と引き続き安定した成長を維持する見通しである。
 3. イギリスのEU離脱に伴うマイナス面が予想を下回り、ユーロ圏が引き続き金融緩和政策を採り景気が回復しているものの、ドイツ、フランスなどの国は2017年に国政選挙が行われ、政治及び経済の不確実性が高まり、企業及び消費者マインドを低減させることから、2016年のEU諸国の経済成長率は+ 1.8% (0.1%ポイントの上方修正)となり、うちイギリスは+ 2.1% (0.5%ポイントの上方修正)、ドイツは+ 1.8% (横ばい)となる見込み。2017年のEU経済成長率は+ 1.4%に下降し (0.2%ポイントの上方修正、イギリスを含まない場合は+ 1.5%、0.1%ポイントの上方修正)、うちイギリス、ドイツはそれぞれ+ 1.2% (1%ポイントの上方修正)、+ 1.7% (横ばい)となる見通しである。
 4. 中国大陸は経済構造の調整及び生産過剰の淘汰が持続し、経済成長の伸び悩みが常態となりつつあることから、2016年は+ 6.6% (横ばい)となり、2017年は+ 6.3% (0.1%ポイントの上方修正)と減速する見通し。なお、2016年の香港の成長率は+ 1.5% (横ばい)、シンガポール及び韓国はそれぞれ+ 1.6% (0.1%ポイント下方修正)、+ 2.8% (0.1%ポイントの上方修正)で、2017年はそれぞれ+ 1.7%、+ 1.8%、+ 2.7%となる見通し。

(二) 2016年第4四半期及び2017年国内経済予測

2016年第4四半期GDPの前年同期比成長率(yoy)予測値は+ 2.37% (8月予測値から0.01%ポイントの下方修正)、1-3四半期と併せた2016年通年の経済成長率は+ 1.35%と、8月予測値から0.13%ポイントの上方修正となる見込み。2017年経済成長率は+ 1.87%と、8月予測値から0.01%ポイントの下方修正となる見通しである。

1. 対外貿易

- (1) 今年に入り、世界経済の成長が減速し、また中国大陸におけるサプライチェーンの現地化の影響が持続したことから、輸出の成長が弱くなったものの、半導体需要の増加、及び農工原材料の国際価格の下げ止まりにより、第3四半期の米ドルベースの輸出は+ 0.11%に好転し、6四半期連続のマイナスを終え、第4四半期の輸出は+ 7.17%と引き続き増加する見込みである。1-3四半期と併せた2016年通年の米ドルベースの輸出は2,772億米ドル、前年同期比▲ 2.85%となる見込み。輸入は2,287億米ドル、前年同期比▲ 3.59%となり、商品及びサービス貿易を加え、物価要因を控除した2016年の輸出の実質成長率は+ 1.54%、輸入の成長率は+ 2.47%となる見通し。
- (2) 2017年の展望については、国際通貨基金(IMF)は世界の貿易量が+ 2.3%から+ 3.8%に増加すると予測しており、競争力のある国内半導体製造業が引き続き製造の先端優位性を維持し、モバイル装置商品の新発売、車用電子、IOTなど新興応用の需要増加が輸出成長の維持にプラスとなるものの、国際産業競争の激化、世界的な貿易保護主義の高まり、中国大陸におけるサプライチェーンの現地化や生産過剰による持続的な押し付け圧力などの影響が一部成長力を制約することから、2017年の米ドルベースの輸出(税関ベース)は2,909億米ドル、前年比+ 4.95%、また輸入は2,419億米ドル、

	商品貿易年増率 (通関ベース、%)		貿易黒字 (億米ドル)	商品・サービス貿易の実質 成長率 (台湾元ベース%)		商品・サービ ス貿易収支 (億米ドル)
	輸出	輸入		輸出	輸入	
2013年	1.64	0.25	334	3.50	3.40	476
2014年	2.78	1.38	382	5.86	5.67	548
2015年	▲10.86	▲15.83	481	▲0.34	1.19	677
2016年(f)	▲2.85	▲3.59	485	1.54	2.47	635
第1季(r)	▲12.11	▲13.99	122	▲3.88	▲1.39	161
第2季(r)	▲6.23	▲7.64	119	0.21	▲0.29	149
第3季(p)	0.11	▲0.10	119	3.59	5.27	149
第4季(f)	7.17	7.73	126	5.85	6.05	176
2017年(f)	4.95	5.79	490	3.83	3.85	645

同 + 5.79%となる見通し。商品及びサービス貿易を加え、物価要因を控除した2017年の実質輸出成長率は+3.83%、輸入成長率は+3.85%となる見通し。

2. 民間消費

(1) 今年1-3四半期において、出国者数が二桁の成長となり、政府の短期消費振興策の実施が民間消費を押し上げ、貨物税減免による自動車市場の持続的活況、モバイル装置新商品の販売好調などが民間消費に活力を注入したものの、物価の上昇、及び近年の国内就業及び賃金の増加幅が限定的であり、成長を一部弱めることから、2016年民間消費の実質成長率は+1.94% (0.35%ポイントの上方修正)となる見通し。

(2) 2017年を展望すると、国内景気が次第に回復することに伴い、民間消費は安定した成長を維持することから、2017年の民間消費成長率は+1.74%となる見通し。

3. 固定投資

(1) 民間投資については、国内半導体業者が新興需要に応じ、ハイエンドの生産投資の拡大を加速し、建設投資が不動産市場の不振により引き続き弱いことから、2016年の民間投資実質成長率は+1.88% (0.73%ポイントの上方修正)となる見込み。

	民間消費名目金額 (億元)		実質成長率 (%)
		年増率 (%)	
2013年	82,484	2.65	2.34
2014年	85,887	4.13	3.44
2015年	87,607	2.00	2.68
2016年(f)	89,984	2.71	1.94
第1季(r)	22,425	3.46	2.64
第2季(r)	22,236	2.58	1.59
第3季(p)	22,747	2.91	2.46
第4季(f)	22,576	1.92	1.06
2017年(f)	92,057	2.30	1.74

公共投資については、政府は引き続き各部署及び公営事業の予算執行の強化を督促している。民間及び公共投資を加え、物価要因を控除した2016年の固定投資実質成長率は+1.92%となる見込み。

(2) 2017年を展望すると、不動産市場の低迷趨勢は短期で反転することが困難であるものの、半導体及び関連サプライチェーン業者の優位性ある製造工程の投資が持続され、加えて政府が積極的に投資環境の改善、5+2イノベーション産業発展計画を実施しており、また航空業者の航空機購入の拡大などが成長力の維持にプラスとなることから、2017年民間投資は3兆元に上り、実質成長率は+2.00% (0.49%ポイントの上方修正)と

	固定投資名目金額(億元)			固定投資実質成長率(%)				
	民間	政府	公営事業	民間	政府	公営事業		
2013年	33,787	26,859	4,925	2,004	5.30	7.09	▲2.79	2.99
2014年	34,938	28,207	4,622	2,110	2.05	3.58	▲7.52	4.95
2015年	34,928	28,615	4,405	1,908	1.64	2.97	▲2.41	▲7.21
2016年 (f)	35,702	29,268	4,475	1,959	1.92	1.88	2.36	1.35
第1季 (r)	8,423	7,337	814	272	▲0.12	0.22	▲1.70	▲5.07
第2季 (r)	8,648	7,144	1,019	484	0.16	1.16	▲5.09	▲2.50
第3季 (p)	9,410	7,917	1,092	401	3.35	3.62	4.66	▲6.38
第4季 (f)	9,221	6,870	1,549	802	4.04	2.42	8.47	11.03
2017年 (f)	36,623	30,069	4,546	2,007	1.88	2.00	1.19	1.73

なる見込みであり、公共投資を加え物価要因を控除した2017年固定投資実質成長率は+1.88%となる見通しである。

4. 物価

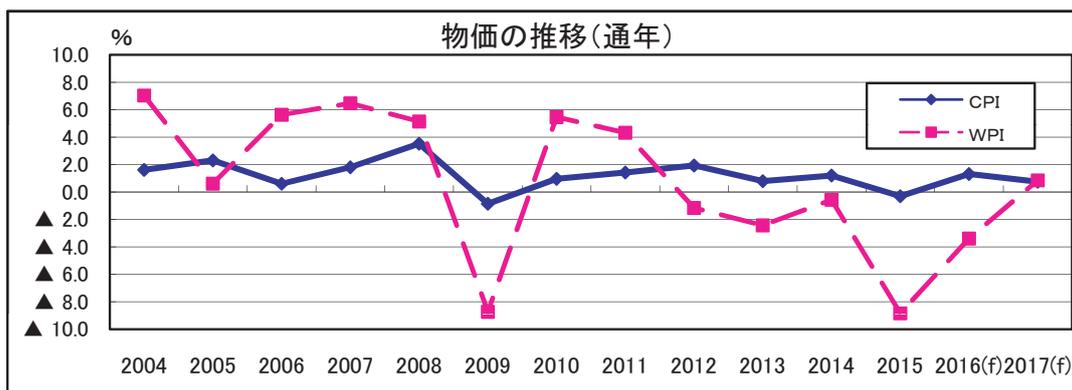
- (1) 国際機関の予測を参考に、2016年第4四半期のOPECバスケット原油価格を1バレル=44.7米ドル(8月の予測値から2.7米ドルの上方修正)、2016通年では1バレル=40米ドル(1米ドルの上方修正)と設定する。2017年は1バレル=47.5米ドル(0.5米ドルの下方修正)と設定する。
- (2) 近頃国際原油価格及び農工原材料価格が持続的に上昇していることから、2016年の卸売物価指数(WPI)は▲3.39%となる見込み(8月の予測値から0.48%ポイントの上方修正)。2017年は世界景気の緩やかな回復に伴い、WPIは+0.85%と今年を上回る見込み(0.18%ポイントの上方修正)。
- (3) CPIは、今年の天候不順及び台風の影響

を受け、食物類価格の上昇が持続し、加えて国際石油価格や燃料費の上昇により、2016年は+1.31%(0.19%ポイントの上方修正)、2017年は+0.75%(0.03%ポイントの下方修正)となる見通し。

- 5、以上を総合すると、2016年通年のGDP規模は17兆元を突破し、経済成長率は+1.35%で、8月時点の予測値から+0.13%ポイントの上方修正となり、一人当たりGDP及びGNIはそれぞれ2万2,450米ドル、2万3,231米ドル、CPIは+1.31%となる見込みである。また2017年の経済成長率は+1.87%となり、一人当たりGDP及びGNIはそれぞれ2万3,122ドル、2万3,905米ドル、CPIは+0.75%となる見通しである。

(三) 主要な不確定要素

- 1. 米国トランプ政府の政策の動向による世界の貿易経済、金融市場への影響
- 2. 中国大陸のサプライチェーンの現地化、経済構造の調整、兩岸関係の動向に伴う台



湾への影響。

3. 消費性電子製品の好不調、科学技術の移転（IT への支出がハード装置からソフト・ネットに転換）に伴う台湾産品への需要変動。
4. 政府の 5 + 2 イノベーション産業発展政

策（グリーンエネルギーテクノロジー、スマート機械、アジアのシリコンバレー計画、バイオ・医薬、国防産業の五大イノベーション研究開発計画プラス新農業および循環経済の 2 計画）の推進及び実施効果。

（以上）

内需・外需寄与度（対前期比、年率換算）

（単位：％）

	GDP	国内需要				国外需要	
		民間消費	政府消費	固定資本形成	輸出	輸入	
2013							
I	▲1.20	8.07	4.65	▲3.45	25.94	▲0.41	13.37
II	4.03	▲1.63	3.28	▲0.38	▲13.22	5.11	▲2.94
III	3.18	1.11	1.43	▲2.16	2.56	2.07	▲1.03
IV	6.08	9.56	7.52	0.36	21.33	5.46	10.43
2014							
I	2.37	4.01	0.56	17.32	4.40	5.03	7.96
II	5.07	0.21	4.12	▲4.42	▲5.77	10.03	3.27
III	4.58	5.95	4.83	3.60	10.36	9.16	12.02
IV	2.03	2.45	2.49	3.89	1.41	0.11	0.42
2015							
I	3.25	▲1.87	2.24	▲13.73	▲3.49	4.65	▲2.76
II	▲6.82	8.14	4.18	12.17	15.73	▲15.98	3.44
III	▲0.03	▲4.53	▲3.22	▲0.27	▲10.24	0.34	▲6.41
IV	0.07	3.92	7.12	6.99	▲5.51	0.47	6.48
2016							
I (r)	4.86	0.32	1.83	6.44	▲7.53	1.11	▲6.55
II (p)	0.23	3.74	0.65	▲5.07	19.27	0.75	7.02
III (f)	3.91	3.42	1.00	5.02	8.57	12.83	14.10
IV (f)	1.01	0.56	1.39	▲11.24	6.95	9.15	10.30
2017							
I (f)	3.23	0.47	2.96	2.84	▲6.79	▲2.25	▲7.85
II (f)	0.31	0.52	1.63	4.82	▲4.91	4.40	5.82
III (f)	1.84	3.83	1.41	1.10	12.17	0.95	4.13
IV (f)	1.41	2.57	1.45	4.78	3.90	3.63	6.17

（出所）行政院主計処 2016 年 11 月 25 日発表 r：修正値、p：速報値、f：予測値
 （注）▲はマイナス。輸入のマイナス(▲)の寄与度は、GDP に対してはプラスの寄与度となる。

內需・外需寄与度 (对前年同期比)

(单位：%)

	GDP		国内需要						固定資本形成						民間消費						政府消費						民間投資						公營事業投資						政府投資						輸出						輸入					
	國內需要		民間消費		政府消費		固定資本形成		民間投資		公營事業投資		政府投資		民間消費		政府消費		民間投資		公營事業投資		政府投資		輸出		輸入		輸出		輸入																									
	成長率	寄与度	成長率	寄与度	成長率	寄与度	成長率	寄与度	成長率	寄与度	成長率	寄与度	成長率	寄与度	成長率	寄与度	成長率	寄与度	成長率	寄与度	成長率	寄与度	成長率	寄与度	成長率	寄与度	成長率	寄与度	成長率	寄与度	成長率	寄与度																								
2007	6.52	1.83	2.42	1.33	2.20	0.32	1.14	0.28	1.88	0.35	2.20	0.03	▲2.80	▲0.11	5.14	10.45	6.87	2.89	1.73																																					
2008	0.70	▲2.44	▲1.69	▲0.91	1.54	0.22	▲11.13	▲2.66	▲14.15	▲2.64	▲1.98	▲0.03	0.44	0.02	2.94	0.55	0.39	▲4.13	▲2.55																																					
2009	▲1.57	▲4.51	0.01	0.01	3.22	0.49	▲8.81	▲2.04	▲15.32	▲2.66	2.37	0.04	14.07	0.58	2.68	▲8.42	▲5.91	▲13.22	▲8.59																																					
2010	10.63	9.56	3.76	2.08	1.05	0.17	19.31	4.12	27.63	4.13	7.49	0.13	▲2.92	▲0.13	1.07	25.67	15.50	28.03	14.44																																					
2011	3.80	0.57	3.12	1.65	1.95	0.29	▲1.15	▲0.27	1.20	0.21	▲13.44	▲0.24	▲5.78	▲0.24	3.27	4.20	2.98	▲0.46	▲0.29																																					
2012	2.06	0.63	1.82	0.99	2.16	0.33	▲2.61	▲0.61	▲0.35	▲0.06	▲7.42	▲0.11	▲10.95	▲0.44	1.47	0.41	0.30	▲1.78	▲1.18																																					
2013	2.20	2.03	2.34	1.28	▲0.79	▲0.12	5.30	1.18	7.09	1.24	2.99	0.04	▲2.79	▲0.10	0.32	3.50	2.46	3.40	2.14																																					
2014(r)	4.02	3.71	3.44	1.86	3.66	0.54	2.05	0.46	3.58	0.63	4.95	0.07	▲7.52	▲0.24	0.65	5.86	4.07	5.67	3.42																																					
I (r)	3.84	2.88	3.06	1.71	4.15	0.60	2.60	0.57	3.25	0.56	14.22	0.16	▲6.77	▲0.15	1.18	4.37	3.02	3.14	1.84																																					
II (r)	4.31	3.81	3.67	1.99	2.53	0.37	2.14	0.47	4.62	0.83	▲14.55	▲0.18	▲5.66	▲0.17	0.86	4.73	3.31	4.08	2.45																																					
III (r)	4.39	4.98	4.16	2.24	3.81	0.56	3.69	0.82	4.67	0.82	19.61	0.22	▲6.98	▲0.22	▲0.12	7.49	5.18	8.84	5.29																																					
IV (r)	3.56	3.15	2.83	1.51	4.12	0.62	▲0.12	▲0.02	1.66	0.33	5.50	0.07	▲9.68	▲0.41	0.72	6.67	4.65	6.53	3.93																																					
2015(r)	0.72	1.86	2.68	1.43	▲0.26	▲0.04	1.64	0.36	2.97	0.52	▲7.21	▲0.09	▲2.41	▲0.07	▲0.95	▲0.34	▲0.24	1.19	0.71																																					
I (r)	4.01	1.58	3.52	1.95	▲2.96	▲0.42	▲0.25	▲0.06	1.59	0.29	▲28.76	▲0.30	▲2.35	▲0.05	2.57	6.13	4.19	2.71	1.61																																					
II (r)	0.66	3.64	3.63	1.94	0.79	0.11	0.93	0.20	▲0.07	▲0.01	21.95	0.23	▲0.50	▲0.01	▲2.59	▲1.23	▲0.86	2.91	1.73																																					
III (r)	▲0.70	0.86	1.20	0.64	0.16	0.02	3.78	0.82	6.10	1.08	▲5.72	▲0.06	▲7.09	▲0.20	▲1.47	▲2.92	▲2.05	▲0.95	▲0.57																																					
IV (r)	▲0.79	1.42	2.42	1.26	0.72	0.10	1.98	0.42	4.32	0.68	▲12.00	▲0.25	▲0.23	▲0.01	▲2.06	▲2.59	▲1.86	0.29	0.20																																					
2016(f)	1.35	1.87	1.94	1.01	2.43	0.34	1.92	0.40	1.88	0.32	1.35	0.02	2.36	0.06	▲0.29	1.54	0.99	2.47	1.27																																					
I (r)	▲0.23	1.82	2.64	1.36	6.34	0.86	▲0.12	▲0.00	0.22	0.01	▲5.07	▲0.01	▲1.70	▲0.00	▲1.83	▲3.88	▲2.51	▲1.39	▲0.69																																					
II (r)	1.13	0.85	1.59	0.82	2.03	0.29	0.16	0.03	1.16	0.19	▲2.50	▲0.03	▲5.09	▲0.13	0.43	0.21	0.16	▲0.29	▲0.27																																					
III (p)	2.03	2.79	2.46	1.29	3.56	0.50	3.35	0.69	3.62	0.62	▲6.38	▲0.06	4.66	0.12	▲0.40	3.59	2.33	5.27	2.73																																					
IV (f)	2.37	2.00	1.77	1.06	▲1.46	▲0.25	4.04	0.84	2.42	0.45	11.03	0.15	8.47	0.24	0.59	5.85	3.75	6.05	3.16																																					
2017(f)	1.87	1.61	1.74	0.92	0.06	0.01	1.88	0.39	2.00	0.34	1.73	0.02	1.19	0.03	0.45	3.83	2.39	3.85	1.94																																					
I (f)	2.25	2.09	1.87	1.65	▲2.43	▲0.34	2.80	0.57	2.73	0.48	2.50	0.01	3.42	0.07	0.39	4.83	2.98	5.19	2.59																																					
II (f)	2.07	1.21	1.07	1.74	▲0.03	▲0.01	2.42	0.50	2.26	0.39	1.82	0.02	3.81	0.10	0.99	6.00	3.72	5.43	2.73																																					
III (f)	1.59	1.29	1.15	1.73	▲0.84	▲0.12	1.03	0.22	0.94	0.17	2.47	0.02	1.16	0.03	0.45	3.15	1.97	3.01	1.52																																					
IV (f)	1.60	1.86	1.83	0.91	3.20	0.47	1.43	0.30	2.19	0.34	1.06	0.03	▲1.61	▲0.07	0.00	1.69	1.02	2.03	1.02																																					

(出所) 行政院主計處 2016年11月25日発表 r : 修正値、p : 速報値、f : 予測値

重要経済指標

行政院主計総処 2016年11月25日発表

	経済成長率(実質GDP)(%)			一人当たりGDP		一人当たりGNP		消費者物価 上昇率 (%)	卸売物価 上昇率 (%)	名目GDP (百万台湾元)
	前年 同期比	"前期比 (年率換算)	前期比	台幣元	米ドル	台幣元	米ドル			
2004年	6.51	-	-	514,405	15,388	530,835	15,879	1.61	7.03	11,649,645
2005年	5.42	-	-	532,001	16,532	544,798	16,930	2.30	0.61	12,092,254
2006年	5.62	-	-	553,851	17,026	567,508	17,446	0.60	5.63	12,640,803
2007年	6.52	-	-	585,016	17,814	599,536	18,256	1.80	6.47	13,407,062
2008年	0.70	-	-	571,838	18,131	585,519	18,564	3.52	5.14	13,150,950
2009年	▲1.57	-	-	561,636	16,988	579,574	17,531	▲0.86	▲8.73	12,961,656
2010年	10.63	-	-	610,140	19,278	628,706	19,864	0.96	5.46	14,119,213
2011年	3.80	-	-	617,078	20,939	633,822	21,507	1.42	4.32	14,312,200
2012年	2.06	-	-	631,142	21,308	650,660	21,967	1.93	▲1.16	14,686,917
2013年	2.20	-	-	652,429	21,916	670,585	22,526	0.79	▲2.43	15,230,739
2014年(r)	4.02	-	-	688,434	22,668	708,540	23,330	1.20	▲0.57	16,111,867
第1季(r)	3.84	2.37	0.59	165,172	5,441	172,469	5,680	0.80	0.07	3,862,258
第2季(r)	4.31	5.07	1.24	167,818	5,565	172,984	5,735	1.63	0.68	3,925,676
第3季(r)	4.39	4.58	1.13	174,876	5,817	179,064	5,957	1.51	0.01	4,093,475
第4季(r)	3.56	2.03	0.50	180,568	5,845	184,023	5,958	0.84	▲3.02	4,230,458
2015年(r)	0.72	-	-	714,277	22,384	738,097	23,131	▲0.31	▲8.84	16,759,016
第1季(r)	4.01	3.25	0.80	179,105	5,669	186,877	5,916	▲0.59	▲8.51	4,198,871
第2季(r)	0.66	▲6.82	▲1.75	173,451	5,597	177,071	5,714	▲0.70	▲9.41	4,068,742
第3季(r)	▲0.70	▲0.03	▲0.01	179,370	5,568	184,806	5,738	▲0.26	▲9.47	4,209,316
第4季(r)	▲0.79	0.07	0.02	182,351	5,550	189,343	5,763	0.33	▲7.99	4,282,087
2016年(f)	1.35	-	-	725,096	22,450	750,390	23,231	1.31	▲3.39	17,046,791
第1季(r)	▲0.23	4.86	1.19	181,342	5,438	189,683	5,688	1.75	▲4.99	4,260,531
第2季(r)	1.13	0.23	0.06	176,429	5,439	181,330	5,590	1.34	▲3.27	4,146,530
第3季(p)	2.03	3.91	0.96	182,110	5,739	187,766	5,918	0.71	▲3.42	4,282,125
第4季(f)	2.37	1.01	0.25	185,215	5,834	191,611	6,035	1.32	▲1.78	4,357,605
2017年(f)	1.87	-	-	737,845	23,122	762,786	23,905	0.75	0.85	17,381,213
第1季(f)	2.25	3.23	0.80	183,491	5,750	191,738	6,009	0.64	▲0.01	4,319,342
第2季(f)	2.07	0.31	0.08	180,213	5,648	185,257	5,806	0.91	0.38	4,243,901
第3季(f)	1.59	1.84	0.46	185,730	5,820	191,208	5,992	1.04	1.40	4,376,024
第4季(f)	1.60	1.41	0.35	188,411	5,904	194,583	6,098	0.58	1.64	4,441,946

r : 修正値、 p : 速報値、 f : 予測値